

名古屋市と名城大学による 高校生の起業体験の場

「イノベーション推進を目指し、起業家精神を実践的に学ぶ」。そんな少し難しそうにも聞こえる活動で高校生が大活躍！高校生の起業体験を大学生が支援した「スタートアップ・ユースキャンプ」について名城大学に取材しました。

質問1

名古屋市と連携した「スタートアップ・ユースキャンプ」はどんな事業ですか？



自ら価値を創造する力を育み、スタートアップに挑戦する人を育成するため、ビジネスに興味のある高校生が事業や課題解決のアイデア創出に取り組む名古屋市主催の事業です。ビジネスを生み出しつつ、同じ志を持つ仲間や経営者と出会う機会を得られます。フットワークが軽く勢い溢れる高校生のチームを、知識と経験がある大学生がサポートしました。

Heeeeeeeee!



質問2

名城大学と名古屋市が連携する意義はなんですか？



社会のニーズが多様化する一方、それに応える財源や人材は限られています。社会の「やってほしい」と私たちの「やりたい」をつなげる。市との連携を通して、研究や学生活動の場を学外にも生み出し、社会貢献を図ることができます。

質問3

ユースキャンプによって参加者にどのような変化がありましたか？



高校生にとっては、アイデアをアウトプットし、他者の意見に触れて世界を広げるとともに、好きなことやしたいことを深く顧みる機会になったようです。他方で、サポート役を果たした大学生も高校生から刺激を受けていました。



質問4

この事業を通して名城大学にはどんな変化がありましたか？



ひとつは起業に興味のある高校生と出会えたこと。さらに、高校生と関わる必要性を改めて感じられたことです。高校生と関わる機会は多くはありません。意欲ある高校生と出会い、「大学がどうサポートできるか」など、関わり方を振り返りました。今後も積極的にこうした機会を設けていきたいです。



感想

ユースキャンプの全体像から具体的な活動内容までを知り、たくさんの高校生に参加してほしいと思いました。高校生が積極的に行動できる場であり、新しい価値観、発見ができる活動だと感じています。



団体プロフィール

学校法人名城大学

中部圏最大規模を誇り、多彩な10学部、大学院9研究科を擁する文理融合型の総合大学。開学90年を超える長い歴史がある。「穩健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」を立学の精神に掲げ、総合化・高度化・国際化の推進に取り組んでいる。